



横須賀市立うわまち病院

# うわまち病院の移転が決定へ

## 12月定例議会

平成30年12月定例議会を11月29日から12月14日までの16日間で開催しました。

まず、11月29日と30日には11人による一般質問を行いました。(1・2面に質問記事を掲載)

その後、市長から提出を受けた平成30年度の一般会計補正予算(第3号)など22件の議案を審議しました。本年4月の逸見小学校内への公設学童クラブ開設に関する条例(議案第129号)や民間資金を活用しての本公郷改良アパート建替契約締結(議案第144号)などで、全て可決しました。また、議員定数の削減に関する議員提出議案は賛成多数で可決しました。(1面に関連記事を掲載)

請願1件については一部採択し、陳情6件に対し議会の意思を示しました。(4面に審議結果を掲載)

## 請願「病院移転の再考を」

平成30年8月に市が発表したうわまち病院の移転方針に関し、「うわまち病院移転につき再考を求める請願」の提出を受けました。請願項目は次の3点でした。

1. うわまち病院移転計画を再考してください。
2. うわまち病院の改築・移転について地域住民にしっかり説明をしてより多くの住民の理解を得るよう努力してください。
3. 上町地区の包括的な地域振興対策を検討・策定してください。

このうち項目2と3を賛成多数で一部採択しました。日本共産党は全項目採択を、無所属みらいは全項目不採択を主張し、2会派が反対しました。1項目を不採択としたことにより、いわば「移転を再考する必要はない」との態度を議会が示した格好となりました。(なお、市は議会閉会後の12月21日に移転先を神明公園とする方針を発表しました)

## 木下憲司議長 逝去

平成19年に初当選され、平成29年5月からは、本市市議会議長として市政発展のためご尽力してこられた木下憲司議員(68歳)が平成31年1月11日にご逝去されました。心よりご冥福をお祈りいたします。



ヨコスカ街なかミュージック

問 7月に読売広告社のYOMIKOが調査したシビックプライド調査が

## 12月定例議会 一般質問 西郷 宗範 議員 自由民主党 シビックプライド調査の結果について

発表された。人口10万人以上の151自治体を対象とし、「愛着」「誇り」「共感」「継続移住意向」「他者推奨意向」の5つの指標による評価を行っている。本市は41位以下と低い。市長はこの結果についてどう考えるか。

答 このような結果は非常に残念。市民が横須賀に誇りを持てる取り組みを進めていきたい。

問 シビックプライドの

12面へ続く

## 来期の議員定数を41人から40人に削減

平成31年の改選に向けた議員定数のあり方に関しては、各交渉会派(自由民主党、公明党、無所属みらい、研政、市政同友会)から選出された委員10人で構成する議会制度検討会議において、平成28年から検討をしてきました。(日本共産党はオブザーバー参加)

同会議では延べ12回協議を行い、本市の人口減少を鑑みて定数の削減は避けて通れないと判断、議会による政策立案機能向上に向けた政策形成サイクルが平成31年から本格稼働することなどを考慮した結果、次期改選時の定数削減は最小限に留め、現在の41人から1人削減し、40人とすべきものと結論づけました。

その後12月14日の本会議において、議員定数を削減するための議会基本条例改正案が議会運営委員長から提出され、賛成多数で可決しました。

これにより、来期からは次の選挙で新たに選ばれる40人の議員で市政をチェックしていくこととなります。

【1面からの続き】  
醸成にはコミュニケーション  
ポイントが必要であ  
る。街なかミュージッ  
クなどでは、音楽が自由  
に楽しめる場所の整備が  
必要ではないか。

大村 洋子 議員 日本共産党

市民本位の窓口対応と「ベンチのめるまち」

問 すべての職員には窓  
口にみえた市民のお困り  
ごとに機転を利かせて、  
わかりやすく役に立つ情  
報を伝えてほしい。  
答 これからも必要な情  
報を察知してお話するよ  
う努める。

問 「よかった。ありが  
とう。」に込められたお  
気持ちは。  
答 職員に対し、感謝の  
気持ちは言葉にして伝え  
ようという運動のキャッ  
チフレーズだ。

問 横須賀市は高齢化率  
が30%を超え、義足や装  
具費用の一部支給者は  
1092人。「長くは歩



横須賀中央駅付近にあるベンチ

答 コミュニケーショ  
ンポイントを作っていくこ  
とは非常に意義深い。そ  
のような場所を作り出す  
機運を盛り上げていき  
たい。

問 けない。途中で休めるよ  
うベンチを置いてほし  
い」という高齢者、障が  
い者の要望がある。  
答 効果については実態  
把握、他都市の好事例の  
収集などから研究を始め  
たい。

嘉山 淳平 議員 無所属みらい

親子の居場所の必要性に関し認識の違い

問 本市では雨の日に幼  
児を連れて遊べる場が少  
なく、市外まで出る親子  
もいる。全天候型の遊び  
場の必要性について、市  
長の認識を伺う。

答 屋内施設は、愛ら  
んなどを周知していく。全  
天候型の遊び場は研究課  
題としてほしい。しかし、  
幼児と一緒に遊ぶという  
意味がよく理解できない。  
雨が降ったら軒下で遊ん



り、滑り台の下で雨をよ  
けたりすることは公園で  
は当たり前で、どこまで  
サービスが広がっていく  
かという意味でぴんとこ  
ない。

田中 洋次郎 議員 自由民主党

全国初の農福連携協定の経過と展望について

問 全国初の特例子会社  
と地方自治体との農福連  
携協定がスタートした  
が、市の具体的な取り組  
みは。  
答 今は推移を見守って  
いる。

問 障がい者雇用がゴー  
ルではない。皆が成果を  
上げて働く喜びを感じ、  
対価を受けて物、心共に  
豊かな人生を送れるよう  
自立のサポートをするこ  
とが「誰も一人にさせな  
いまち」の姿では。  
答 同感である。

問 市長の考えるスワー  
ルコミュニティとは何か。  
答 既存組織では出  
ない方にその機会を提  
供するものである。

加藤 ゆづけ 議員 無所属みらい

スクールコミュニティ整備事業について

問 既存組織では出  
ない方にその機会を提  
供するものである。  
問 学校施設活用にあ  
たり、管理体制はどのよ  
うに構築するのか。  
答 子どもたちの安全  
面や教職員の多忙化に配  
慮し、教育委員会と調整  
し、検討する。

問 何をもち、スワー  
ルコミュニティの内容が  
確定したと捉えればよい  
か。  
答 私も自身も何をもち  
てスクールコミュニティの  
完成かはわからない。市  
民と一緒に考えていく必  
要がある。

い。年々子育て世代の  
ニーズは変わるため柔軟  
に対応すべき。  
答 ハードよりソフトが  
重要だと思っており、他  
都市にハードがあるとい  
う理由で出ていくことは  
理解できない。

問 YRPとの農業IC  
Tの共同研究、県立保健  
福祉大学との農福学連携  
等も進めては。  
答 産学官全部含めて連  
携するシステムを作るつ  
もりである。

問 ユニバーサルな働き  
方は障がい者に限らず、  
ひとり親や引きこもりの  
方々などの雇用機会も創  
出できる。農業以外の分  
野でも検討を進めては。  
答 来年から進めていき  
たい構想の一つ。ぜひ仕  
組みを作りたい。

答 同感である。居場所  
づくりは非常に大きな要  
素である。是非検討した  
い。

井坂 直 議員 日本共産党

災害に強いまちづくり・石炭火力発電所計画

問 木造住宅の耐震化は  
進んでいるのか。  
答 耐震化目標の達成は  
難しい。

問 経済的な理由で耐震  
補強工事に踏み出せない  
市民等もいるのでは。  
答 それも要因の一つ。  
問 申請した市民等が工  
事費用の全額を施工業者  
に支払う必要がなく、初  
期費用の負担軽減となる  
代理受領制度の導入を。  
答 本市でも適用可能。  
問 市民への周知が大事  
では。  
答 そうだ。検討したい。

問 久里浜の石炭火力発  
電所建設計画について、  
参議院の質疑で環境大臣  
は、石炭火力については  
非常に厳しい姿勢で臨ん  
でいきたいと発言した。  
国の姿勢についていかが  
か。  
答 国がどのようなこと  
というの、私はわから  
ない。事業者の判断によ  
るものだ。

小林 伸行 議員 研政

基地跡地の活用法について

問 トランプ大統領の誕  
生で在日米軍撤退が現実  
味を帯びた。米国の会計  
検査院GAOによる「海  
外母港化のリスクを評価  
すべき」旨の報告も事実  
上、海外展開の見直しを  
迫ったとの見方もある。  
問 何かしらの備えは必  
要だ。自主防衛で機能強  
化もあり得る自衛隊とも  
話をしているのか。  
答 仮定の問題でいま答  
えるわけにはいかない。

問 何かしらの備えは必  
要だ。自主防衛で機能強  
化もあり得る自衛隊とも  
話をしているのか。  
答 仮定の問題でいま答  
えるわけにはいかない。

渡辺 光一 議員 自由民主党

がん検診の受診率向上について

問 がん検診や精密検査  
の受診率向上に向け、ど

のような取り組みを検討  
しているのか。  
答 広報での案内と医療  
機関へのチラシの配架を  
している。20歳女性には  
子宮頸がん、40歳女性に  
は乳がんの無料クーポン  
を発行。40歳の方全員に  
個別の受診勧奨を行い、  
再勧奨も実施。精密検査  
未受診者には翌年度アン  
ケートを実施している。  
今後さらに検討してい  
たい。



子宮頸がん・乳がん検診無料クーポン券

問 八王子市が成果を挙  
げていることは聞してい  
る。本市でも是非研究し  
たい。  
問 医師会の協力なしに  
は実現できない。これま  
で以上に連携を図ってほ  
しい。  
答 おっしゃるとおり強  
化していきたい。

政策力重視の議会改革が大きく前進！

地方議会では、幅広く住民ニーズをくみ取り、課題を抽出する  
能力とその課題を解決するための政策立案能力が今まで以上に求  
められています。

横須賀市議会は、関東学院大学との包括的パートナーシップ協  
定の締結による専門的知見の導入や、若い世代の声を市政に反映  
するために高校生との意見交換の場も盛り込んだ議会報告会など  
を開催、2017年度からは議会全体で政策課題に取り組む『政策検  
討会議』を設置し「横須賀市がん克服条例」など、市民生活に密  
着した政策条例を議会提案により制定しました。これら様々な議  
会改革は、日本経済新聞社が全国の市町村を対象に実施した議会  
活力度ランキング調査で『全国No. 9』の評価をいただきました。

※このほかに、小室卓重議員、藤野英明議員、ね  
ぎしかずこ議員が一般質問を行いました。  
(紙面の都合上、質問記事は議員一人あたり年2  
回までの掲載となります。)

## 予算決算常任委員会

### 補正予算を含む全議案を可決

12月定例議会では、予算議案及びその関連議案である計7件の議案について、4つの分科会で詳細な審査を実施しました。

まず、平成30年度横須賀市一般会計補正予算については、法人市民税予定納税分・固定資産税・都市計画税(家屋)の多額還付、中国帰国者等支援事業費、(仮称)横須賀市学校給食センター整備運営事業などに関して、また、都市公園条例改正については佐原2丁目公園硬式野球場使用料の基本

額において時間外1時間を利用する際の具体的な事例及び算出額の妥当性について、公園水泳プールの指定管理者の指定については選考団体へ評価点が低かった項目に対して向上に向けた指導を行う考えの有無などについて、活発な議論が交わされました。

その後、12月12日に常任委員会を開き、各分科会委員長から審査の報告を受け、採決の結果、議案第128

一致で原案通り可決すべきものと決定しました。その後、行われた法定報告と一般報告では、公用車の事故防止のための安全装置整備の必要性、インシデント報告を共有化することによる危険予知の重要性、横須賀新ごみ処理施設の運営体制及び市民に対するごみ分別方法の周知手法、パートナーシップ宣誓制度を条例ではなく要綱で制定することとした理由、災害援護資金の貸付で滞った償還金を市が訴訟により返還を求めることに対する認識、ウェブ上での人権侵害に対する削除要請など市の積極的関与の必要性、あんしんかん閉館後の利用方法の妥当性、浦賀奉行所復刻に際し積極的に補助金を獲得する努力の必要性など多くの質疑が交わされました。(委員長 本石篤志)

## 生活環境常任委員会(分科会)

### 補正予算、寄付金を定める条例中改正議案を審査

分科会における平成30年度補正予算の審査では、中国帰国者等支援事業費について、生活支援対象者の増加理由、本市と他都市における支援内容の相違点の有無について質疑が交わされました。

次いで常任委員会では、地方税法に掲げる寄付金を定める条例中改正において、特定非営利活動法人が条例対象となるための基準及び手順、同法人の指定にあたり市が市民協働審議会からの答申と異なる判断を行った事例の有無、同法人が指

定を受け た場合の デメリット などについて 質疑があり、採決の結果、全会



横須賀市民防災センター「あんしんかん」

議案第135号 手数料条例中改正について、第137号 産業交流プラザの指定管理者の指定について、及び第141号 公園水泳プールの指定管理者の指定については全会一致で、第129号 横須賀市放課後児童クラブ設置条例制定について及び第136号 都市公園条例中改正については賛成多数で、原案通り可決すべきものと決定しました。(委員長 鈴木真智子)

## 常任委員会の審査から

### 教育福祉常任委員会(分科会)

#### 公設の放課後児童クラブを設置する条例案を審査

分科会での平成30年度補正予算の審査では、児童福祉事業費指定寄附により児童相談所が購入する備品の詳細、千代ヶ崎砲台跡の便益施設設置に関し文化庁との協議に時間を要した理由、(仮称)横須賀市学校給食センター整備運営事業費に関し小学校給食施設の老朽化に伴う改修経費も考慮して予算計上する必要性など、多くの質疑が交わされました。

逸見小学校への放課後児童クラブ設置にあたり制定する横須賀市放課後児童クラブ設置条例に関する審査では、使用料の算定において検討された具体的内容、使用料を下げるために人件費を抑える方策を検討する必要性などについて質疑が交わされました。また、常任委員会では、認定こども園の要件を定める条例案や市



放課後児童クラブの活動の様子

立田浦保育園の指定管理者を指定する議案など全5件の議案の審査が行われ、採決の結果、いずれも原案通り可決すべきものと決定しました。市立うわまち病院移転計画の再考及び上町地区の包括的地域振興対策の検討・策定を求める請願の審査では、3項目ある願書のうち、うわまち病院の改築・移転に関して地域住民にしっかりと説明し、より多くの住民の理解を得る努力をすること及び上町地区の包括的な地域振興対策を検討・策定することの2項目を妥当と認め、賛成多数で一部採択しました。(委員長 西郷宗範)

## 総務常任委員会(分科会)

### 産業交流プラザの指定管理者の指定に多くの質疑

平成30年度補正予算案の審査では、法人市民税の確定申告で還付となる場合の還付加算金の利率を見直す必要性、家屋2棟の固定資産税・都市計画税の課税誤りについて家屋ごとに還付額の内訳を示すことができない理由、同税の課税誤りに係る還付加算金の金額及び利率、高度な専門知識や一定年数の実務経験を有する課税業務従事職員の確保に向けた人材育成の必要性

などの質疑がありました。また、産業交流プラザの指定管理者の指定については、指定管理者選考委員会の公開プレゼンテーション実施に係る市民への周知方法、同選考委員会で審査する評価項目における市内事業者と市外事業者の配点基準の違い、評価項目に係る障害者及び男女共同参画への配慮について就業規則のみで評価することの妥当性、現在の指定管理者のノウハウを新しい指定管理者へ引き継ぐ方法など、多くの



産業交流プラザ

質疑がありました。一般報告では、ルートミュージアム事業計画について、中核拠点となる(仮称)横須賀市近代遺産ガイダンスセンターで利用者がくつろぐスペースの場所、同センターを市内小中学校の社会見学として活用する必要性など、平成31年度行政組織改正案については、行政管理課を廃止して担当業務を総務課に移管する場合の懸念事項など、多くの質問がありました。(委員長 矢島真知子)

## 都市整備常任委員会(分科会)

### PFIを活用した本公郷改良アパート建替工事始まる

今定例議会では8つの議案について審査を行いました。

主な内容として、議案第136号 都市公園条例中改正については、佐原2丁目公園に新設した硬式野球場と駐車場の使用料等の規定を設けるもので、野球場使用料の基本額において時間外1時間を利用する際の具体的な事例や算出額の妥当性など質疑されました。議案第141号 公園水泳プールの指定管理者の指定については、次年度から5年間の管理運営を行う指定管理者を選定するもので、

選考時の競争性を確保するための方策の必要性、選考団体に對し障害者雇用に



本公郷改良アパート完成イメージ図

対する取り組みを指導する必要性などの質疑がありました。議案第140号 土地の取得については、特別緑地保全地区内で建築等の行為を行う場合、市長の許可が必要ですが、緑地の保全上支障があるため不許可処分となりました。その結果、土地所有者から購入申出があったため、都市緑地法に基づき買い入れることになりました。委員会では、今後の同地区の土地買入れ見込み及び国庫補助の認証状況などの質疑がありました。また、議案第144号 本公郷改良アパート建替事業特定事業契約の締結については、PFIを活用したことによる事業効果や工事中の周辺地域住民への配慮、福祉NPO拠点整備における福祉部との連携の必要性などの質疑がありました。(委員長 渡辺光一)

平成30年12月定例議会 審議結果

○は賛成、×は反対

Table with columns for 議案番号, 賛否が分かれた議案, and 会派 (自由民主党, 公明党, 無所属みらい, 研政, 市政同友会, 日本共産党) and 無会派 (小室卓重, はまのまひる, 藤野英明, 山本けんじゅ).

\*その他議案及び諮問18件については、全会一致で可決、同意または異議ない旨回答しました。詳細は市議会ホームページにも掲載してありますので、ご覧ください。
\*議長は、議事を取り仕切る立場から、採決に加わりません。

3月定例議会のお知らせ

Table with columns for 開催日 and 会議名, listing dates from Feb 18 to Mar 27 and meeting names like 議会運営委員会, 本会議, 予算決算常任委員会, etc.

\*時間の記載がないものは10時開会です。
\*特別委員会については、日程が追加される場合があります。
\*最新の情報は市議会ホームページか議事課でご確認ください。

【会派所属議員名】平成30年12月14日現在

自由民主党 田辺昭人 大野忠之 青木哲正 青木秀介 木下憲司(議長) 松岡和行 渡辺光一 西郷宗範 南まさみ 井口一彦 田中洋次郎
公明党 板橋 衛 鈴木真智子 土田弘之宣 石山 満 関沢敏行 本石篤志 二見英一
無所属みらい 永井真人 嘉山淳平 矢島真知子 葉山 直 小幡沙央里 加藤ゆうすけ
研政 伊関功滋 長谷川昇 小林伸行 高橋英昭 角井 基
市政同友会 伊藤順一 伊東雅之 加藤真道 杉田 惺 山口道夫
日本共産党 大村洋子 ねぎしかずこ 井坂 直

請願・陳情

Table with columns for 件名 and 結果, listing requests like 市立うわまち病院移転計画の再考及び上町地区の包括的地域振興対策の検討・策定について and 臓器移植の環境整備を求める意見書の提出について.

\*審査終了とは、委員の意見が一致しないなど委員会としての結論が出せずに審査を終えた場合を言います。

編集後記



この市議会だよりも年4回の発行となつて3年が経過しました。私たち広報広聴会議のメンバーは、議会の内容をいかにわかりやすく、タイムリーにお伝えできるかを念頭に、時には熱い議論を交えながら紙面の構成や表現等について真剣に検討して参りました。これからも皆さんにご愛読いただけるよう、更なる紙面の向上を目指し、より充実した内容をお伝えするよう努力して参ります。

議会を傍聴してみませんか

本会議や委員会は、誰でも傍聴することができます。傍聴は、市議会の活動を身近に感じていただける機会です。定例議会の日程をご覧ください、ぜひ、お越しください。(詳しくは、市議会事務局へお問い合わせください。)